

2011年10月12日/千葉大学総合校舎A号館2階大会議室
アカデミック・リンク・セミナー(第4回)「講義配信の極意」
参加者 アンケート集計結果
当日参加者数: 51名 アンケート提出数: 29件

1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

- ・教育のオープン化について。
- ・意義づけには色々な角度からのとらえ方があることがよくわかりました。
- ・多くの大学が講義配信をおこなっているということをそもそも知らなかつたので、ぜひ見てみたいと思いました。
- ・「講義配信」という活動が、学生だけでなく大学や社会にも利益のあることだということ。「大学の知を結実させ、それを社会に出すことで、『知の還元』が行われ、また大学の知へつながる」というサイクルが印象に残った。
- ・教材の作成から公開までの体制が全学的に整っていること。予算があればきちんとした体制で実施し成功できるかと思いました。
- ・オープン化によって一般の方にも大学にも有益だというのが新しい発見でした。
- ・著作権処理を意外と簡単に済ませている。
- ・iTunesU、YouTube EDU などで大学の講義が多数配信されている事を初めて知りました。
- ・東京大学で様々な取り組みをしているということ。
- ・講義配信の意義についてさまざまな角度から知ることができた。
- ・講義を電子化して誰もが利用できるという事の利点。著作権処理。
- ・講義の配信を行うことはただ単にカメラ一台でとるのではなく、色々な手段や工夫を用いて撮っている、ビデオを作っているということ。東大のオープン化の動き。
- ・学生スタッフはアルバイトであること。公開までには半年あること。
- ・実際の収録等の作業に学生が参加していること。
- ・「講義を配信する」というのはすごく新しいことだと思った。どのように行っているのか、ということが今までわからなかつたので、配信までの流れを知ることができてよかったです。ただかなりの労力がかかるのでいろいろな大学に広げていく、というのは難しいのではないかと感じた。
- ・OCW 等のオープンなコンテンツ。
- ・講義を配信する意義。
- ・iTunesU について知らなかつたので見てみようと思いました。
- ・講義映像というものを初めて見た。講義については実際に受ける場にいるのとあまり変わらない印象を持った。規模が大きくなると難しくなると思うが、ゼミ形式のものを配信することも可能なのが気になった。(講義ではないが・・・)。
- ・講義のオープン化について実例も交えて潮流がよく解りました。
- ・海外の事例が面白かったです。保守的な国立大でネット配信のとりくみがここまでされているのはおどろきました。色々と手間がかかっているんだなと open 化の流れも知ることができて面白かったです。
- ・オープンエデュケーションについてどのような利点があるのかなどがわかりやすかったです。

2. 本日のセミナーで、よくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。

- ・「視聴」するには90分はかなり長いとは思うのですが短く編集（小分けなどに）したりすることはあるのでしょうか。
- ・外国での例も紹介されていたが、日本と外国と比較した時日本に足りない部分は何なのか？また、こういった教材にアクセスできない人への対応はどうするのか？（全ての人がアクセスするにはどう対応するのか、その構想はあるのか。）
- ・日本のどのくらいの大学でどの程度講義のオープン化が進んでいるのか。
- ・アカデミック・リンクが人々の学び、教える場におけるつながりを可視化させる、とあつたが具体的にどういうことなのが少し分かりづらかった。
- ・MITの調査では新入生のうち35%がOCWを知っていたとのことですが、東大ではどうでしょうか？学外への広報はどの程度積極的にされているのでしょうか？
- ・オープンエデュケーションにおけるメリット、利点などは多いが、デメリットなどはないのかどうか気になりました。

3. 今後もアカデミック・リンクではセミナーやシンポジウムを企画していきます。そこで、取り上げてほしいテーマや講師があれば、お書きください。

- ・アカデミック・リンクの今後の課題。
- ・“for what”
- ・アカデミック・リンクが学生にとってどういう利点があるのか、またどう関わって活用していけばよいのか。
- ・ICTを利用した学習の「効果」について。
- ・最近iPadが学びのデバイスとして注目されている。それゆえJobs氏亡き後のAppleの動向について現CEOの話を聞きしたい。
- ・教育のICT利用の実践は日々進化すると思うので定期的に多方面からのスピーカーに来てほしいです。

4. 本日のセミナーの内容、著作権制度、大学教育の情報化などについて、自由にご意見をお書きください。

- ・このアンケートをweb入力できるようにしていただけます。
- ・学内の学生も利用して有益な講義配信になってほしいです。
- ・大変興味深いセミナーありがとうございました。意義づけ、制作の過程、課題などが大変参考になりました。
- ・自主的に自由に学んだり教えたりできるようになっていく中で大学へ行くことの意味や大学の価値とは何なのか考えさせられました。
- ・私自身全く興味がなく参加しましたが、とてもおもしろく勉強になり参加してよかったです。教育のオープン化など、私のようにまったく知らない学生が多いので、どのように知らせ活用していくかが課題だと思いました。
- ・大学講義のOPEN化で大学の存在意義は？との事があったかと思いますが、実験などの実体験、著作権などのしづりがある講義などは原理的にOPEN化が困難であるのでそういう部分においては大学の学生であるメリットは十分にある。
- ・様々な例を出して説明していただけてわかりやすかったです。
- ・アカデミック・リンクの可能性について知り、とても興味深く感じた。
- ・このような活動が行われているということを多くの人は知らないままでいるのではないかと思います。私も、司書の為の授業を受けていなければ知らないままだったと思います。

- ・大学が将来進んでいく上での課題や、アカデミック・リンクの可能性を知ることができて良かった。
- ・OCW 用に教員が教材を作成するのが近道。
- ・ネットでのビデオ講義配信が行われていることを知らなかつたので知つてもらう機会が増えれば、と思いました。
- ・そのうち大学は教育を切りすべて研究機関になることも可能に思われた。
- ・著作権の問題があつたが、文学系の講義配信で資料をどこまで提供するのか気になつた。
- ・個々の大学のコンテンツを束ねるプラットフォームの重要性を改めて感じました。
- ・千葉大は ICT 利用をどの程度すすめようとしているのか、具体的に知りたいです・進める際の課題はどういうことがあるのでしょうか？

5. 次の（1）（2）について、該当するものに○をつけてください。

- (1) a. 学外から参加 (3 件) b. 学内からの参加 (24 件) 無回答 (2 件)
(2) a. 学生 (22 件) b. 教員 (3 件) c. 大学職員(図書館員も含む) (1 件)
d. 出版関係 (1 件) e. その他 (2 件)

6. セミナーを何で知りましたか？(複数回答あり)

- a. Web(アカデミック・リンク・センター) (1 件) b. Web (図書館) (0 件)
c. Web (千葉大学) (2 件) d. 一斉配信メール (7 件) e. ポスター (1 件)
f. センターからのメール (5 件) g. Facebook・Twitter (1 件)
h. その他(重田先生より 1 件、 授業で先生による紹介があつて 15 件)

千葉大学 アカデミック・リンク・センターでは、セミナーの開催や関連する情報を提供しています。これらの情報を希望される方は、お名前・ご所属・メールアドレスをご記入ください。（既に登録されている方は引き続きお届けしますので、空欄で結構です）

※5 名が新規に継続的な情報提供を希望

以上

2011年10月12日/千葉大学総合校舎A号館2階大会議室
アカデミック・リンク・セミナー(第4回)「講義配信の極意」
参加者 アンケート

千葉大学アカデミック・リンク・センターでは、「生涯学び続ける基礎的な能力」「知識活用能力」を持つ『考える学生』を育成することを目的とし、デジタル時代における大学の学習教育環境の改革に取り組んでいきます。今後の活動のために、本日のセミナーに参加されたご意見・ご感想をお寄せください。

1. 本日のセミナーで、よくわかったこと、新しい発見などがあればお書きください。

2. 本日のセミナーで、よくわからなかったこと、疑問に残ったことがあればお書きください。

3. 今後もアカデミック・リンクではセミナーやシンポジウムを企画していきます。そこで、取り上げてほしいテーマや講師があれば、お書きください。

4. 本日のセミナーの内容、著作権制度、大学教育の情報化などについて、自由にご意見をお書きください。

5. 次の(1)、(2)について、該当するものに○をつけてください。

(1) a. 学外から参加 b. 学内からの参加

(2) a. 学生 b. 教員 c. 大学職員(図書館員も含む) d. 出版関係 e. その他

6. セミナーを何で知りましたか?

a. Web(アカデミック・リンク・センター) b. Web(図書館) c. Web(千葉大学) d. 一斉配信メール

e. ポスター f. センターからのメール g. Facebook・Twitter h. その他()

千葉大学 アカデミック・リンク・センターでは、セミナーの開催や関連する情報を提供しています。これらの情報を希望される方は、お名前・ご所属・メールアドレスをご記入ください。(既に登録されている方は引き続きお届けしますので、空欄で結構です)

お名前: ()

ご所属: ()

電子メールアドレス: 申込時に申請したもの それ以外 ()

ご協力ありがとうございました。